



#洗濯ブラザーズがサステナブルなランドリーライフの発信拠点として 東京 三宿にクリーニング店をオープン

株式会社バレル(横浜市都筑区すみれが丘 20-2: 代表取締役 茂木康之)www.barrel-japan.com は、この度、東京は三宿にサステナブルなランドリーライフの発信拠点として2店舗目となる「LIVRER MISHUKU」(住所：東京都世田谷区池尻 2-7-12 ストアハウス A1)を2021年9月24日(金曜日)にGRAND OPEN 致します。

ABOUT LIVRER

横浜の小さなクリーニング店に持ち込まれたステージ衣装がその始まりでした。繊細で複雑なそれを美しく洗い上げるために試行錯誤の末に生み出されたのは衣服をより生き生きと蘇らせるクリーニングでした。お客様の要望にいかに応えるかを追求した結果 LIVRER はワードローブを“アンチエイジング”させるランドリーライフを見出したのです。それは、衣服を長く大切にするという姿勢にも繋がっていきます。

わたしたちは今、環境破壊がもたらした気候変動を目の当たりにし地球とどう共生していくのかという大きな問題に直面しています。クリーニング界の常識を覆した LIVRER のスタンスはその問題を解決していくための、ひとつの糸口にもなれると信じています。



ABOUT MISHUKU SHOP

プロフェッショナルならではの知識や技術を、より多くのみなさまにお届けするために、三宿での新たな取り組みがスタートします。三宿店では、お客様の大切な一着を“アンチエイジング”させるという LIVRER の魅力を、実際に体感していただけます。

クリーニング界の革命児、洗濯ブラザーズ。彼らプロの真髄をシェアする場所としてリブレ三宿は店舗内に様々なプログラムを盛り込んでいます。クリーニング、物販(オリジナル、セレクト)、ワークショップ、動画撮影。各々が独立した空間を使いながらもワンルームで緩く繋がり、一体感のある空間。何度来ても新しい発見のある楽しいお店です。自然環境にやさしいリブレの商品同様、空間で用いたマテリアルもサステナブルなリサイクル素材を中心としたもの。商品コンセプトとインテリアデザインに統一感を持たせた内装となっています。



壁・什器(アコスターポリボード)

再利用が難しい古紙(アート紙、ラミネート紙、感熱紙、雑誌ほか)と廃プラスチック(合成繊維、不織布。PET、PP、PE、ほか→非塩ビ)をリサイクルした、環境に優しい素材です。プラスチックとほぼ同程度(合板の1/10以下)の吸水性で耐水、耐腐食、断熱に効果があります。マテリアル・リサイクルが可能。MDF等の木材+樹脂成型板とは異なり、再びハイブリッドボードとして生まれ変わることができます。



テーブル(ガラス)

廃蛍光灯、廃ナトリウム灯、廃ブラウン管のリサイクルガラスを主な原料としています。工場で分別、適正処理された純度の高いガラスを高い意匠性に仕上げています。



床(コルク)

コルクはコルク樹の樹皮から作られるため、木の伐採は行いません。樹皮を剥ぎ取られることでコルク樹は細胞再生が活発化。生命力が向上し、コルク樹森林の健全化に繋がります。動物も植物の命も奪わない、100%ヴィーガンのサステナブルな生分解性オーガニック素材です。